

調査結果の概要

幼児・児童及び生徒の発育状態

1 身長

(1) 前年度との比較

- ・男子は、7歳、15歳、16歳の各年齢で高くなっているが、中学生の年齢では前年度の同年齢より全ての年齢で低くなっている。
- ・女子は、6歳、11歳、13歳、16歳、17歳の各年齢で前年度の同年齢より高くなっている。
- ・9歳から11歳までは、女子が男子を上回っている。

(2) 全国平均値との比較

- ・男子は5歳、8歳、9歳、11歳、12歳、14歳で下回り、13歳(159.8cm)で同じとなっているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は5歳、7歳、8歳、10歳、12歳で下回り、16歳(157.8cm)が同じとなっているほかは、全国平均値をやや上回っている。

(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男女とも、すべての年齢において30年前を上回っている。
- このうち、最も伸びの大きい年齢は、男子が12歳(152.4cm)で3.7cm、女子は9歳(131.0cm)で2.9cm高くなっている。

表1 年齢別 身長の平均値

(単位: cm)

区分		平成18年度 A	平成17年度 B	A - B	全国(H18) C	A - C	30年前 D (親の世代)	A - D	
男	幼稚園	5歳	110.6	110.8	-0.2	110.7	-0.1	109.4	1.2
	小学校	6歳	116.8	117.3	-0.5	116.6	0.2	115.0	1.8
		7歳	122.6	122.5	0.1	122.5	0.1	120.6	2.0
		8歳	128.2	128.4	-0.2	128.3	-0.1	126.3	1.9
		9歳	133.3	133.9	-0.6	133.6	-0.3	130.9	2.4
		10歳	139.5	139.5	0.0	138.9	0.6	136.7	2.8
	中学校	11歳	144.7	146.2	-1.5	145.1	-0.4	142.5	2.2
		12歳	152.4	152.8	-0.4	152.6	-0.2	148.7	3.7
		13歳	159.8	160.4	-0.6	159.8	0.0	157.0	2.8
	高等学校	14歳	165.2	165.5	-0.3	165.3	-0.1	162.8	2.4
		15歳	169.2	168.8	0.4	168.5	0.7	166.5	2.7
		16歳	170.4	170.3	0.1	170.0	0.4	168.4	2.0
		17歳	171.1	171.3	-0.2	170.9	0.2	169.6	1.5
女	幼稚園	5歳	109.7	109.9	-0.2	109.8	-0.1	108.8	0.9
	小学校	6歳	116.3	115.8	0.5	115.8	0.5	114.1	2.2
		7歳	121.4	121.8	-0.4	121.7	-0.3	120.1	1.3
		8歳	127.0	127.6	-0.6	127.4	-0.4	125.9	1.1
		9歳	133.9	134.0	-0.1	133.5	0.4	131.0	2.9
		10歳	140.1	140.1	0.0	140.2	-0.1	138.2	1.9
	中学校	11歳	147.1	146.8	0.3	147.0	0.1	144.5	2.6
		12歳	151.8	152.3	-0.5	152.0	-0.2	150.2	1.6
		13歳	155.6	155.4	0.2	155.2	0.4	153.6	2.0
	高等学校	14歳	156.8	156.9	-0.1	156.7	0.1	155.4	1.4
		15歳	157.6	157.6	0.0	157.3	0.3	156.3	1.3
		16歳	157.8	157.7	0.1	157.8	0.0	156.2	1.6
		17歳	158.7	158.3	0.4	158.0	0.7	156.8	1.9

30年前(親の世代)は、昭和51年度のデータ。

2 体重

(1) 前年度との比較

- ・男子は、5歳、6歳、9歳、10歳、11歳、15歳、17歳の各年齢で減っているが、中学生の年齢では前年度の同年齢より全ての年齢で増えている。
- ・女子は、7歳、8歳、10歳、15歳の各年齢で減り、5歳で同じとなっているほかは、前年度の同年齢より増えている。
- ・9歳と11歳では、女子が男子を上回っている。

(2) 全国平均値との比較

- ・男子は6歳(21.6kg)、7歳(24.4kg)、16歳(62.7kg)で上回っているほかは、全国平均値をやや下回っている。
- ・女子は6歳(21.3kg)、9歳(30.6kg)、13歳(48.2kg)で上回っているほかは、全国平均値をやや下回っている。

(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男女とも、すべての年齢において、30年前を上回っている。
- このうち最も伸びの大きい年齢は、男子が16歳(62.7kg)で5.0kg、女子が9歳(30.6kg)で2.5kg重くなっている。

表2 年齢別 体重の平均値

(単位:kg)

区分		平成18年度 A	平成17年度 B	A - B	全国(H18) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男	幼稚園	5歳	18.8	19.0	-0.2	19.1	-0.3	18.5	0.3
	小学校	6歳	21.6	21.7	-0.1	21.5	0.1	20.4	1.2
		7歳	24.4	24.3	0.1	24.2	0.2	22.8	1.6
		8歳	27.3	27.3	0.0	27.4	-0.1	25.5	1.8
		9歳	30.1	31.0	-0.9	30.9	-0.8	28.0	2.1
		10歳	34.3	34.8	-0.5	34.5	-0.2	31.5	2.8
		11歳	38.2	39.0	-0.8	38.8	-0.6	35.2	3.0
	中学校	12歳	44.3	43.7	0.6	44.9	-0.6	39.8	4.5
		13歳	49.6	49.4	0.2	49.9	-0.3	45.8	3.8
		14歳	54.7	54.4	0.3	55.1	-0.4	51.0	3.7
	高等学校	15歳	59.9	60.4	-0.5	60.1	-0.2	55.1	4.8
		16歳	62.7	61.5	1.2	62.0	0.7	57.7	5.0
		17歳	62.6	62.9	-0.3	63.9	-1.3	59.1	3.5
女	幼稚園	5歳	18.5	18.5	0.0	18.7	-0.2	18.2	0.3
	小学校	6歳	21.3	20.9	0.4	21.0	0.3	19.9	1.4
		7歳	23.3	23.9	-0.6	23.6	-0.3	22.3	1.0
		8歳	26.3	26.5	-0.2	26.6	-0.3	25.3	1.0
		9歳	30.6	30.2	0.4	30.1	0.5	28.1	2.5
		10歳	33.4	33.8	-0.4	34.2	-0.8	32.4	1.0
		11歳	38.8	38.7	0.1	39.5	-0.7	36.8	2.0
	中学校	12歳	44.2	44.0	0.2	44.4	-0.2	41.8	2.4
		13歳	48.2	48.1	0.1	47.9	0.3	45.9	2.3
		14歳	50.2	50.0	0.2	50.6	-0.4	49.0	1.2
	高等学校	15歳	51.6	52.1	-0.5	52.3	-0.7	51.0	0.6
		16歳	52.7	52.1	0.6	53.4	-0.7	52.2	0.5
		17歳	53.2	53.1	0.1	53.7	-0.5	52.4	0.8

30年前(親の世代)は、昭和51年度のデータ。

3 座高

(1) 前年度との比較

- ・男子は、6歳、7歳、10歳、12歳、15歳から17歳の各年齢で前年度の同年齢より伸びている。
- ・女子は、6歳、9歳、10歳、15歳から17歳の各年齢で、前年度の同年齢より伸びている。
- ・9歳から12歳までは、女子が男子を上回っている。

(2) 全国平均値との比較

- ・男子は9歳(72.6cm)で下回り、11歳(77.8cm)が同じとなっているほかは、全国平均値をやや上回っている。
- ・女子は7歳(67.1cm)、8歳(69.9cm)で下回り、11歳(79.4cm)、12歳(82.2cm)、14歳(84.9cm)が同じとなっているほかは、全国平均値をやや上回っている。

(3) 30年前(親の世代)との比較

- ・男子はすべての年齢において、30年前を上回っている。
- ・女子は5歳(61.7cm)で下回っているほかは、30年前を上回っている。
このうち、最も伸びの大きい年齢は、男子が12歳(81.5cm)で1.7cm、女子は9歳(73.2cm)で1.2cm高くなっている。

表3 年齢別 座高の平均値

(単位:cm)

区分		平成18年度 A	平成17年度 B	A - B	全国(H18) C	A - C	30年前 D(親の世代)	A - D	
男	幼稚園	5歳	62.4	62.4	0.0	62.1	0.3	62.1	0.3
	小学校	6歳	65.2	65.1	0.1	64.9	0.3	64.9	0.3
		7歳	67.9	67.6	0.3	67.7	0.2	67.5	0.4
		8歳	70.5	70.5	0.0	70.3	0.2	70.0	0.5
		9歳	72.6	73.0	-0.4	72.7	-0.1	72.0	0.6
		10歳	75.5	75.3	0.2	75.0	0.5	74.4	1.1
		11歳	77.8	78.3	-0.5	77.8	0.0	76.7	1.1
	中学校	12歳	81.5	81.4	0.1	81.4	0.1	79.8	1.7
		13歳	85.2	85.4	-0.2	85.0	0.2	83.6	1.6
		14歳	88.1	88.4	-0.3	88.0	0.1	86.9	1.2
	高等学校	15歳	90.7	90.4	0.3	90.2	0.5	89.5	1.2
		16歳	91.6	91.2	0.4	91.2	0.4	90.4	1.2
		17歳	92.1	91.9	0.2	91.8	0.3	90.7	1.4
女	幼稚園	5歳	61.7	61.9	-0.2	61.6	0.1	61.8	-0.1
	小学校	6歳	64.8	64.6	0.2	64.5	0.3	64.4	0.4
		7歳	67.1	67.4	-0.3	67.3	-0.2	67.1	0.0
		8歳	69.9	70.2	-0.3	70.0	-0.1	69.8	0.1
		9歳	73.2	73.1	0.1	72.8	0.4	72.0	1.2
		10歳	76.1	75.7	0.4	76.0	0.1	75.3	0.8
		11歳	79.4	79.4	0.0	79.4	0.0	78.4	1.0
	中学校	12歳	82.2	82.4	-0.2	82.2	0.0	81.6	0.6
		13歳	84.0	84.0	0.0	83.9	0.1	83.7	0.3
		14歳	84.9	85.1	-0.2	84.9	0.0	84.6	0.3
	高等学校	15歳	85.8	85.7	0.1	85.4	0.4	85.4	0.4
		16歳	85.8	85.6	0.2	85.7	0.1	85.5	0.3
		17歳	86.2	85.7	0.5	85.7	0.5	85.5	0.7

30年前(親の世代)は、昭和51年度のデータ。

幼児・児童及び生徒の健康状態

1 疾病・異常の被患率(注)

(1)前年度との比較

裸眼視力1.0未満の者

- ・男子は小学校で被患率が前年を上回っているが、中学校、高等学校では被患率が前年より下回っている。
- ・女子は小学校、中学校で被患率が前年を上回っているが、高等学校では被患率が前年より下回っている。
- ・小学校、中学校、高等学校ともに女子が男子を上回っている。

むし歯(う歯)

- ・疾病・異常の被患率の中で最も高いのは、むし歯(う歯)である。
- ・男子は幼稚園で被患率が前年を上回っているほかは、前年を下回っている。
- ・女子はすべてにおいて被患率が前年を下回っている。
- ・中学校、高等学校では女子が男子を上回っている。

(2)30年前(親の世代)との比較

裸眼視力1.0未満の者

- ・男子は小学校、中学校、高等学校と30年前と比べ被患率が大幅に高くなっている。特に中学校(50.30%)で19.44%も被患率が高くなっている。
- ・女子は小学校、中学校、高等学校と30年前と比べ被患率が大幅に高くなっている。特に中学校(59.52%)で21.88%も被患率が高くなっている。

むし歯(う歯)

- ・男子、女子ともに、すべてにおいて30年前と比べ被患率が大幅に低くなっている。特に男子では幼稚園(60.50%)で35.36%、女子では幼稚園(58.55%)で44.04%と、それぞれ被患率が低くなっている。

表4 学校種類別疾病・異常の被患率(鳥取県)

(単位:%)

区 分	裸眼視力1.0未満			むし歯(う歯)			
	平成18年	平成17年	30年前	平成18年	平成17年	30年前	
男	幼稚園	x	15.58	14.44	60.50	58.00	95.86
	小学校	28.29	26.49	14.69	72.18	74.37	97.35
	中学校	50.30	50.66	30.86	63.98	66.04	96.75
	高等学校	59.41	65.85	47.67	71.41	78.45	96.91
女	幼稚園	x	17.97	23.95	52.68	58.55	96.72
	小学校	33.81	32.46	18.21	68.04	70.30	97.07
	中学校	59.52	58.08	37.64	69.73	70.09	97.63
	高等学校	69.82	70.29	50.59	77.60	82.97	98.32

- (注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。
 2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。
 3 むし歯(う歯)には、処置完了者も含む。
 4 30年前(親の世代)は、昭和51年度のデータ。

(3) 全国平均との比較

裸眼視力1.0未満の者

・男子、女子とも小学校、中学校、高等学校で全国平均値より被患率が高くなっている。

むし歯(う歯)

・男子はすべてにおいて全国平均値より被患率が高くなっている。

・女子は幼稚園で全国平均値より被患率が低いほかは、全国平均値より高くなっている。

アトピー性皮膚炎

・男女ともに幼稚園、小学校、中学校、高等学校すべてにおいて全国平均値より被患率が高くなっている。

特に男子は小学校(9.36%)と全国平均値(3.92%)より5.44%、女子は小学校(8.62%)と全国平均値(3.34%)より5.28%も高くなっている。

・全国平均値ではすべてにおいて男子が女子を上回っているのに対し、鳥取県では幼稚園、小学校で男子の方が被患率が高く、中学校、高等学校では女子の方が被患率が高くなっている。

表5 全国平均値との比較

(単位: %)

区 分	裸眼視力1.0未満		むし歯(う歯)		アトピー性皮膚炎		
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国	
男	幼稚園	x	23.65	60.50	56.41	4.92	4.13
	小学校	28.29	24.35	72.18	68.36	9.36	3.92
	中学校	50.30	46.13	63.98	57.64	4.95	2.96
	高等学校	59.41	55.01	71.41	67.54	4.45	2.27
女	幼稚園	x	24.49	52.68	53.96	4.29	3.41
	小学校	33.81	30.21	68.04	65.60	8.62	3.34
	中学校	59.52	54.49	69.73	61.75	5.42	2.55
	高等学校	69.82	62.64	77.60	72.43	4.50	2.23

(注) 1 この表は、疾病・異常該当者(疾病・異常に該当する旨健康診断票に記載があった者)の割合の推定値を示したものである。

2 「X」はサンプル数が少なく、誤差が大きい(標準誤差が5%以上)ため統計数値を公表しない。

3 「アトピー性皮膚炎」は平成18年度より調査項目に追加。

$$(注) 被患率 = \frac{\text{疾病・異常該当者数}}{\text{受 検 者 数}} \times 100$$